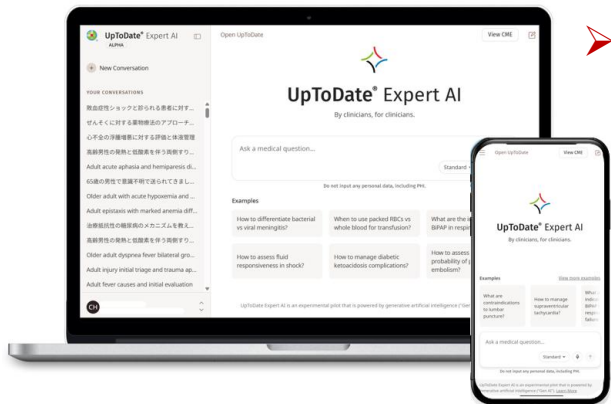




# 【医療向け生成AI】UpToDate Expert AI 活用ガイド



➤ 臨床情報サービスUpToDateのコンテンツをベースとする生成AI『UpToDate Expert AI』の提供が、貴施設の皆様向けに始まりました。

➤ 他の汎用・医療向け生成AIに比べて、高い信頼性や中立性を有する特徴があります。この活用ガイドをご一読のうえ、臨床支援の参考資料としてご活用ください。

## ■ 本活用ガイドの内容

[Step.1] アカウントの登録

[Step.2] UpToDate Expert AIへのアクセス方法

[Step.3] プロンプト(指示文)の例

[Step.4] フィードバックのお願い・サポート連絡先

## ■ UpToDate Expert AIの特徴

1. 信頼性の高い強力な臨床推論、レビュー済みUpToDateの記事を参照
2. 誤回答(ハルシネーション)を抑えた一貫性のある回答
3. 回答内容の参考文献リンクから、出典となるUpToDate記事を読覧可能
4. AI翻訳による日本語出力(参考和訳)
5. 広告・スポンサーに非依存・中立、利用者・入力データの外部販売なし

## ■ 注意事項

得られたフィードバックは継続的な開発支援に活用いたします。  
診断・医療処置・病状管理・診療現場の意思決定支援・医学的判断等の補助または代替を目的としていません。

# [Step.1] アカウントの登録

UpToDate Expert AIを利用するには、施設契約中のUpToDateから、アカウントを登録する必要があります。すでにアカウントをお持ちの方は、[Step.2]にお進みください。

- ① 施設内ネットワークに接続した端末から、UpToDate(下記の接続先URL)に接続します。

【注記】画面の右上に **登録** ボタンが表示されているかご確認ください。  
**登録** ボタンが表示されていない場合は、施設内ネットワークから接続していません。お使いの端末のネットワークをご確認ください。

- ② **登録** ボタンをクリックして、アカウント登録に進みます。

接続先URL :

<https://www.uptodate.com/login>

## アカウントの登録画面

### 【注記】翌日以降に追加項目を入力

- 新規登録のアカウント登録の際、最低限の情報入力にてアカウントの作成が行えるようになりました。
- それ以外の情報に関しては、2回目以降のログインの際にご入力いただきます ( **Ask Again Tomorrow** ボタンで延期も可能です ) 。

補記1 電子メール(Email)の登録のために、確認コード(Verification Code)が送付されます。

英文メールで配信されます。差出元は [noreply@uptodate.com](mailto:noreply@uptodate.com) です。

補記2 Username(ID)は、好きな文字列で登録できます。電子メール・アドレスと同一でも構いません。登録後に変更もできます。

補記3 パスワード(Password)作成ルールは、「大文字を1文字以上使う」「数字あるいは記号を1個以上使う」です。

### 【注記】アカウントの有効期限

90日(約3カ月)に一度、再認証が必要

- アカウントを登録すると、施設内ネットワークに限らず、施設外(ご自宅や出張先、スマートフォンのキャリア回線)からUpToDateにログイン(Sign in)したり、スマホ・アプリを使用できます。
- アカウントの有効期限は、施設内ネットワークからUpToDateに最後にログインした日から90日間(約3カ月間)です。
- 所属確認のために、施設内ネットワークから90日間(約3カ月間)一度もログインがないと、アカウントは休止状態となり、施設外ネットワークからログイン(Sign in)できません。
- 【再認証】休止状態のアカウントは、施設内ネットワークや電子カルテ端末から改めてログイン(Sign in)すると、有効期限が再び90日間(約3カ月間)延長されます。

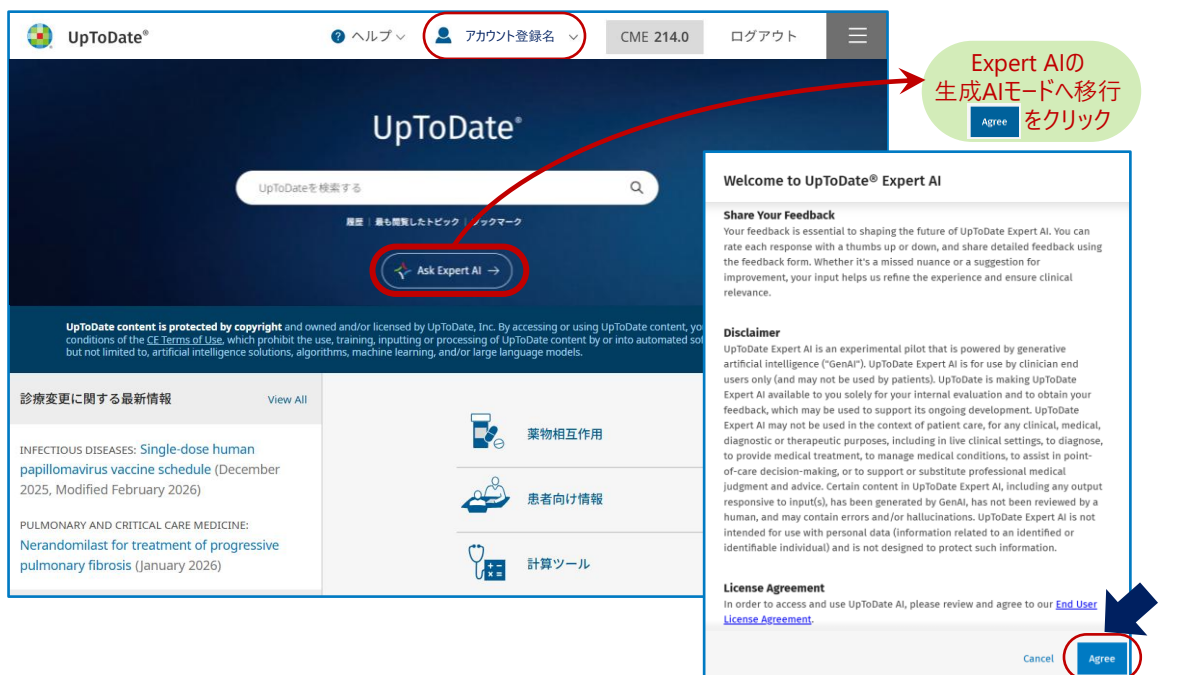
## [Step.2] UpToDate Expert AIへのアクセス方法と使い方

- ① 施設内ネットワークから作成・再認証したアカウントでUpToDateにログイン(Sign in)します。利用は施設内・施設外を問いません。

接続先URL :

<https://www.uptodate.com/login>

- ② 検索窓下に表示されるボタン  をクリックします。  
生成AIモードの検索画面に遷移し、利用規約(License Agreement)や免責事項(Disclaimer)に同意します。



### ③ UpToDate Expert AIの検索画面

- 検索ボックスに自然言語で臨床質問を入力します。日本語も入力できます。
- 日本語でご入力いただいた場合、回答は日本語でご提示いたします。  
(UpToDateの公式翻訳ではありません)
- プロンプト(指示文)は、最大10,000文字まで入力できます。
- 回答に対して、画面の下部の検索窓から追加の質問をしたり、「Learn More」(さらに詳しく)から、掘り下げた回答・知見を得られます。
- 回答の参考文献をクリックすると、UpToDateのレビュー記事を閲覧できます。
- 画面の左側に、検索履歴が表示されます。

## [Step.3] プロンプト(指示文)の例

### ① 臨床推論・鑑別診断

臨床所見や検査結果を提示し、考えられる鑑別診断を提案

【例】「高用量ステロイドを投与中の60歳男性が、胸部CTで肺腫瘍を認める。鑑別診断は？」

### ② 治療方針の確認・比較検討

患者背景を踏まえ、推奨される治療法を確認したり、選択肢を比較評価

【例】「65歳女性が、COVID-19と肺アスペルギルス症の重感染でICUに入室。治療方針は？」

### ③ 臨床ケースの評価

治療過程や臨床所見から、治療方針の妥当性や次のステップを相談

【例】「免疫チェックポイント阻害薬を投与中の肺がん患者に、間質性肺炎が出現。治療継続か分子標的薬への切り替えの判断のポイントは？」

### ④ 医薬品の適正使用・安全性確認

患者背景を考慮し、副作用・相互作用などを評価

【例】「慢性腎不全患者におけるACE阻害薬の使用は安全か？」

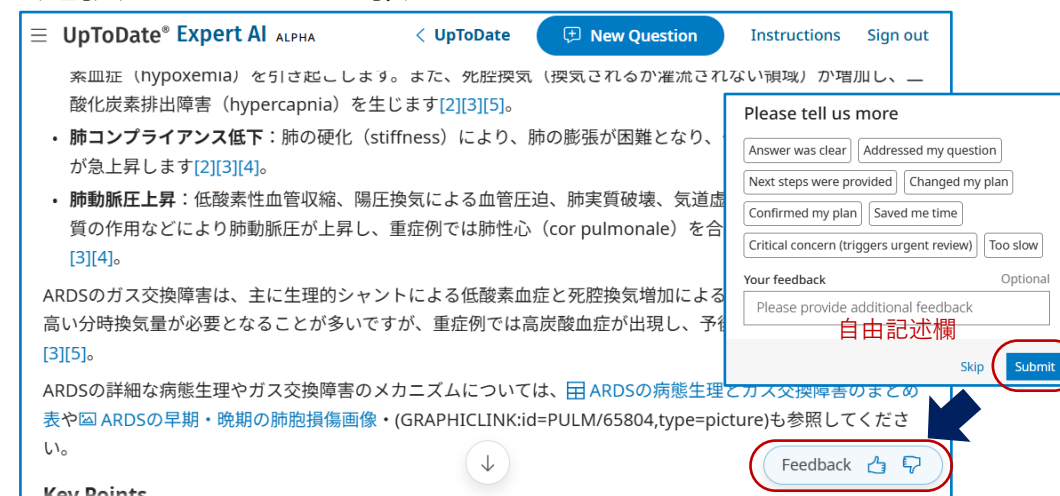
### ⑤ 医学的エビデンス・知識の確認

疾患や治療法に関する病態生理や疫学など、基礎の知見・事実を入手

【例】「抗菌ARDSにおける病態生理とガス交換障害のメカニズムは？」

## [Step.4] ご任意:フィードバックのお願い

- UpToDate Expert AIの回答に対する評価を、よろしければ画面下部のボタン  から、フィードバックしてください。
- 良い(; Like answer)あるいは 悪い(; Dislike Answer)を選択し、その理由を教えてください。



### ■ サポート連絡先 ■

(株)ウォルターズ・クルワー・ジャパン / UpToDate日本事務所

メール: [CEJapan@wolterskluwer.com](mailto:CEJapan@wolterskluwer.com)

電話: 03-5427-1930 (平日・午前9時～午後5時)

# UpToDateベースの高い信頼性を有する医療向け生成AI UpToDate Expert AI 画面概要

Ask Expert AI

■ 接続・ログインURL【**各自の登録アカウントでログイン**】  
<https://www.uptodate.com/login>

UpToDate® Expert AI  
ALPHA

+ 新しい会話

← 会話を始める

🔍 会話を検索

会話履歴

ICUでの甲状腺クリーゼ初期対応

糖尿病性ケトアシドーシスの合併症対応

抗血栓薬と消化管出血リスクの概説

機能的ディスペプシアと胃排出遅延の関連

抗血栓薬と消化管出血リスクの目安

成人の腹痛・頭痛・けいれんの鑑別

成人の腹痛と頭痛と髄膜刺激症状の鑑別

成人男性の急性悪心の初期対応

成人のMRSA化膿性皮膚感染症の第一選択

肺塞栓症における血栓溶解療法の適応

造影剤関連急性腎障害のリスク因子

小児けいれん発作の救急一次対応

成人の急性虚血性脳卒中の初期管理

尿管結石に対する尿管鏡手術の手技要点

Takagi method evaluation for stapes su...

真珠腫性中耳炎の標準治療と術後フォロー

UpToDate を開く

↑ 従来のUpToDateへ接続

日本語で質問、日本語で回答 →

PHI がマスキングされました

ICUで甲状腺クリーゼをどう管理する？  
患者：NAME

個人情報/PHIを入力すると自動的にマスキングします AI 生成の回答

5.5秒間考えました >

Answers in languages other than English are experimental. Use the thumbs up/down feedback buttons to help us improve.

質問内容および患者前提を確認

ICUで甲状腺クリーゼをどう管理するかを知りたい、という質問です。前提として、患者は**成人**で、**妊娠・授乳中ではない**、**甲状腺クリーゼまたは切迫クリーゼ**として直ちに治療開始が必要、という状況を想定します。

前提の追加・修正はありますか？  
患者は小児 患者は妊娠中または授乳中  
患者は急性心不全がある 患者は喘息またはCOPDがある 患者は \_

ICU管理の要点は、(1) ICUでの全身支持療法と誘因（感染など）の同定・治療、(2) 甲状腺ホルモン作用を速やかに抑える多剤併用（β遮断薬＋抗甲状腺薬＋ヨウ素、甲状腺クリーゼではステロイド追加）です。解熱は積極的に行い、解熱薬は**acetaminophen**を用い、**aspirin**は遊離T4/T3上昇の可能性があるので避けます。

初期対応の骨格

会話を続ける... 追加のチャット・ボックス

標準

🗨️

↑

🔗 トピック全文を表示

📄 CMEを確認

📝

↑ 会話を始める

出典のUpToDate記事

thyroid storm, we begin...

• Beta blocker – **Propranolol** preferred. (See 'Beta blockers' below.)

• Thionamide – **Propylthiouracil** (PTU) preferred. (See 'Thionamides' below.)

• Iodine – **Potassium iodide solution** (SSKI) or **potassium iodide-iodine solution** (Lugol's solution). (See 'Iodine' below.)

For patients with clinical features of **thyroid storm**, we also administer:

• Hydrocortisone – (See 'Glucocorticoids' below.)

**Cholestyramine** is an additional adjunctive therapy, especially if the patient is allergic to thionamides. (See 'Other therapies' below.)

Initial therapy is adjusted after there is evidence of improvement. (See 'Subsequent management'

出典のUpToDateの記事を表示

一次文献 References

2. **Diagnostic criteria, clinical features, and outcome of thyroid storm based on nationwide surveys**  
**PubMed** Thyroid 2012;

5. Clinical characteristics and outcome of thyroid storm: a case series and review of neuropsychiatric derangements in thyrotoxicosis  
**PubMed** Endocr Pract 2015;

↓ UpToDate記事ページへのリンク

■ ブラウザ接続  
URLリンク



■ 専用アプリ  
• iOS用アプリ  
URLリンク



• Android用アプリ  
URLリンク



# UpToDate Expert AIの特徴・優位性 (他社比較)

|          | UpToDate Expert AI                                                                                                                                      | 他社サービス例                                                                                                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参照した文献範囲 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ エビデンスの質・信頼性・最新性を確保した、レビュー・査読済みUpToDateコンテンツのみ参照して出力</li> <li>◎ 出力の参考文献としてUpToDateコンテンツを閲覧可能</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 提携する出版社のコンテンツを参照しているため、<u>文献範囲に偏りがある</u></li> <li>➤ 学習コンテンツの管理体制が未確立であるため、<u>エビデンスの質・信頼性・最新性が担保されていない</u></li> </ul> |
| 編集体制     | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 厳格な編集プロセスを実施する強固な編集・監督体制を整備</li> <li>◎ レビュー・査読済みコンテンツによってバイアス混入を徹底的に排除</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ エビデンスの質・信頼性・適用範囲に関する編集プロセスが存在しない</li> <li>➤ 外部の信頼性が低い未管理コンテンツによる<u>バイアス混入リスクが残る</u></li> </ul>                       |
| ビジネスモデル  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 購読料モデルを採用、広告やスポンサーに依存せず、バイアスのない情報を提供</li> <li>◎ プロンプト内容を含め、利用者から収集した機密性の高いデータのセキュリティを担保し、一切外部に販売しない</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 主な収益源は広告や外部スポンサー</li> <li>➤ 利用者から収集したプロンプトを含む情報を、<u>製薬企業などの外部に販売する権利を保持</u></li> </ul>                               |
| 出力の信頼性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ UpToDateの編集部所属の医師による最近の評価では、40件の臨床上の質問に対する他社サービスの出力は、14件に誤りを含むものであった。</li> </ul>                               |                                                                                                                                                               |